

(3) 教育環境

5 歳児-7 母親の最終学歴

問7 お子さんのお母さんの最後に通った学校を教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

(現在、ひとりで子どもを育てている場合(ひとり親の場合)はあてはまる方だけに○をつけてください)

大阪市では、「中学校卒業」が2.4%、「高等学校中途退学」が4.4%、「高等学校卒業」が25.7%、「高専、短大、専門学校等卒業」が39.1%、「大学卒業」が22.5%、「大学院修了」が1.5%、「その他の教育機関卒業」が0.4%、「答えたくない」が0.6%、「無回答」が3.5%である。

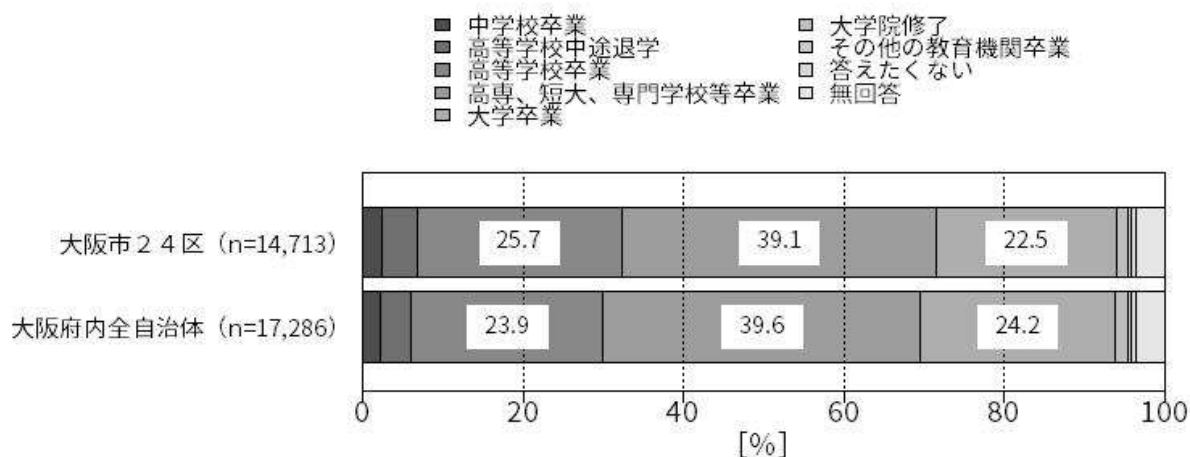


図 49. 母親の最終学歴

5 歳児-7 父親の最終学歴

問7 お子さんのお父さんの最後に通った学校を教えてください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪市では、「中学校卒業」が3.1%、「高等学校中途退学」が4.0%、「高等学校卒業」が26.0%、「高専、短大、専門学校等卒業」が16.7%、「大学卒業」が33.2%、「大学院修了」が4.6%、「その他の教育機関卒業」が0.2%、「答えたくない」が0.7%、「無回答」が11.5%である。

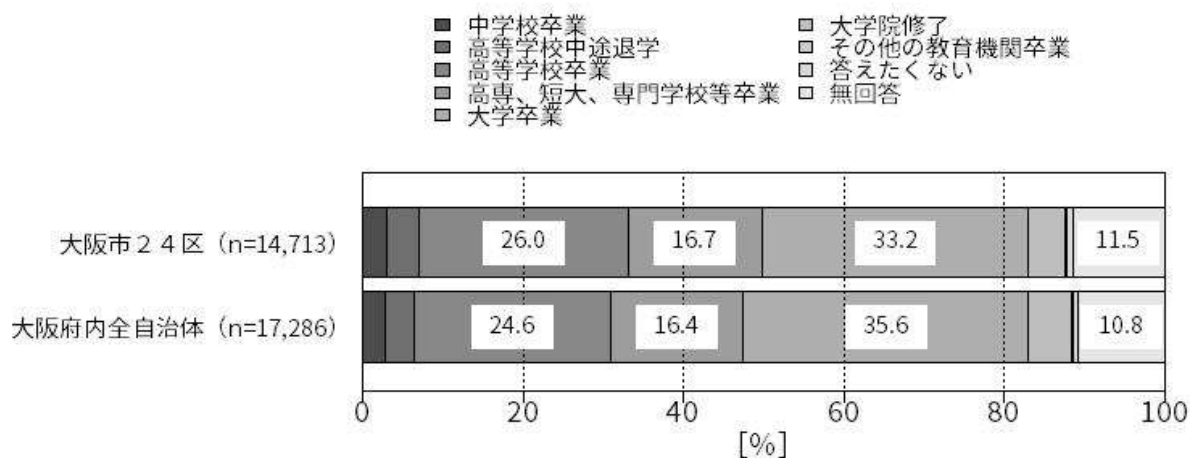


図 50. 父親の最終学歴

5歳児-30 子どもにしていること

問 30 あなたのおうちでは、お子さんに次のことをしていますか。

(おおむね半年の間でお考えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

大阪市では、「生活リズム（早寝・早起き・朝ご飯など）を整える」が 87.2%、「文字や簡単な計算を教える」が 80.4%、「あいさつ、言葉遣い、食事のマナーなどを教える」が 94.1%、「(絵)本を読み聞かせる」が 63.2%、「無回答」が 1.0%である。

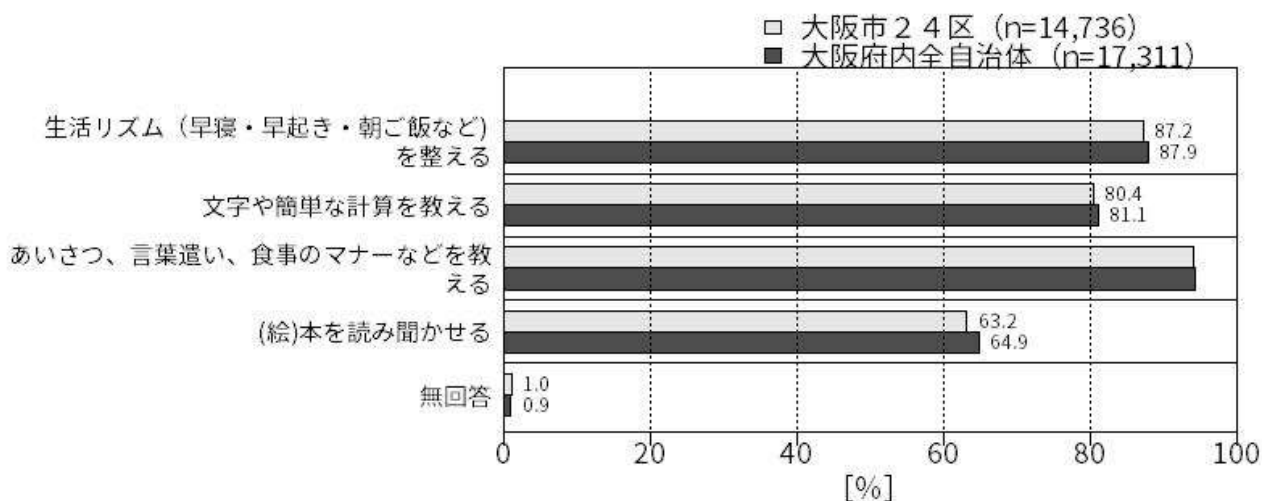


図 51. 子どもにしていること

(4) 社会環境

5歳児-34-1 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人

問 34 ① 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

大阪市では、「いる」が90.2%、「いない」が3.7%、「わからない」が3.5%、「無回答」が2.5%である。

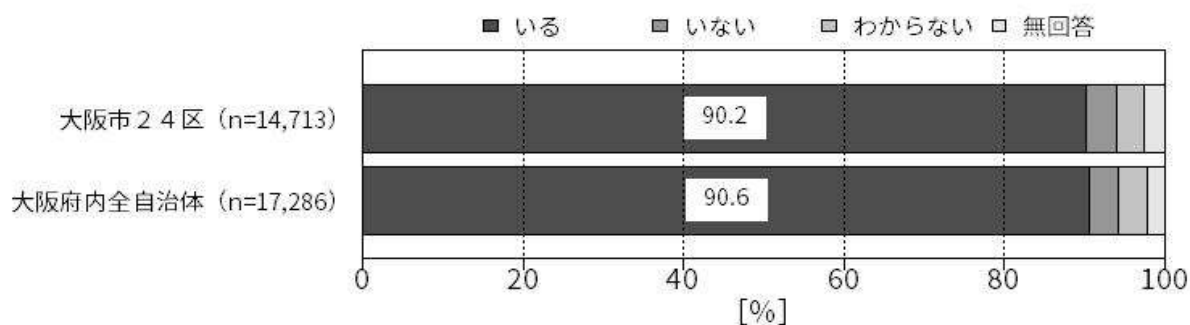


図 52. 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人

5歳児-34-2 あなたの気持ちを察して思いやってくれる人

問 34 ② あなたの気持ちを察して思いやってくれる人(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

大阪市では、「いる」が83.7%、「いない」が6.0%、「わからない」が7.6%、「無回答」が2.7%である。

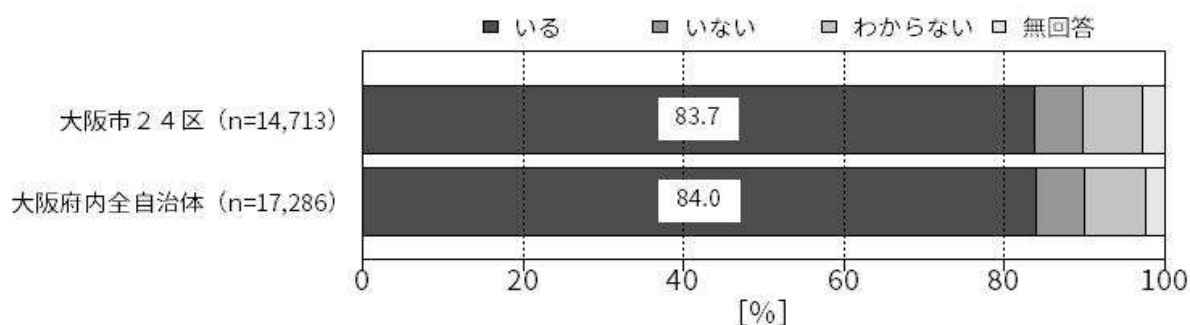


図 53. あなたの気持ちを察して思いやってくれる人

5歳児-34-3 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人
 問 34 ③ 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人
 (あてはまる番号1つに○をつけてください。)

大阪市では、「いる」が82.3%、「いない」が8.6%、「わからない」が6.3%、「無回答」が2.8%である。

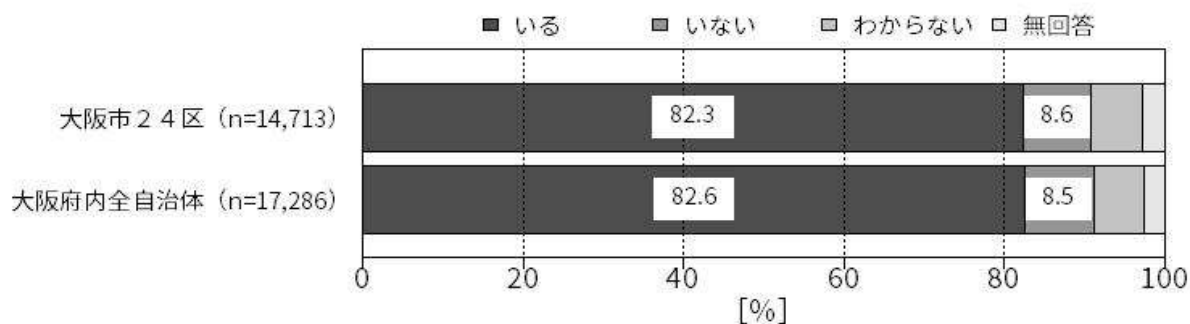


図 54. 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人

5歳児-34-4 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人
 問 34 ④ 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人
 (あてはまる番号1つに○をつけてください。)

大阪市では、「いる」が83.2%、「いない」が5.7%、「わからない」が8.3%、「無回答」が2.8%である。

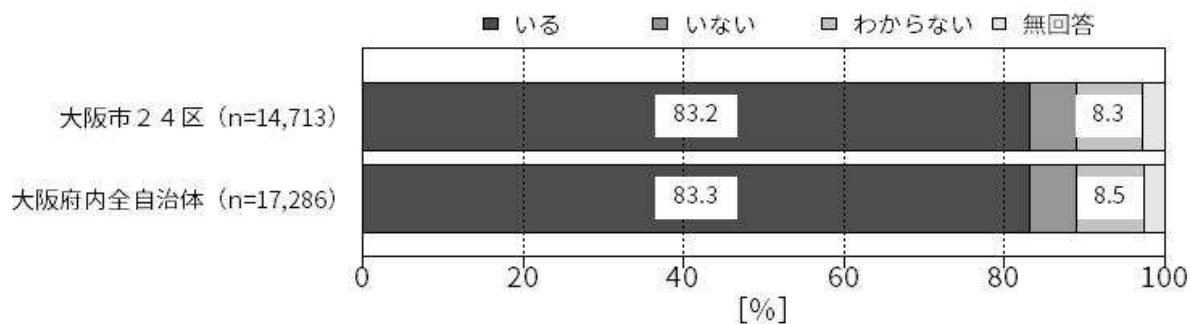


図 55. 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人

5 歳児-34-5 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）

問 34 ⑤ 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）

（あてはまる番号 1 つに○をつけてください。）

大阪市では、「いる」が 75.7%、「いない」が 9.5%、「わからない」が 12.0%、「無回答」が 2.9%である。

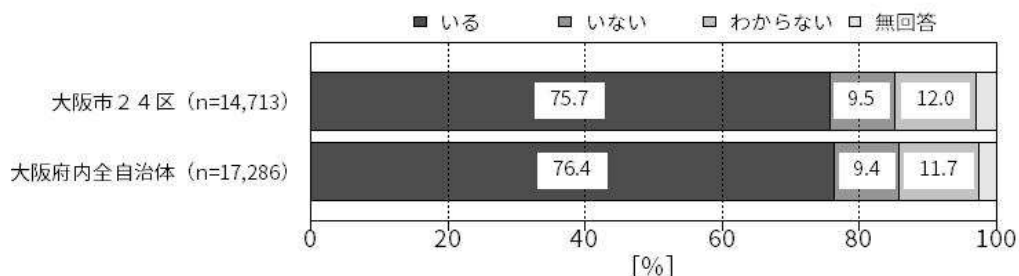


図 56. 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）

5 歳児-34-6 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人

問 34 ⑥ 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人

（あてはまる番号 1 つに○をつけてください。）

大阪市では、「いる」が 71.3%、「いない」が 22.1%、「わからない」が 3.8%、「無回答」が 2.7%である。

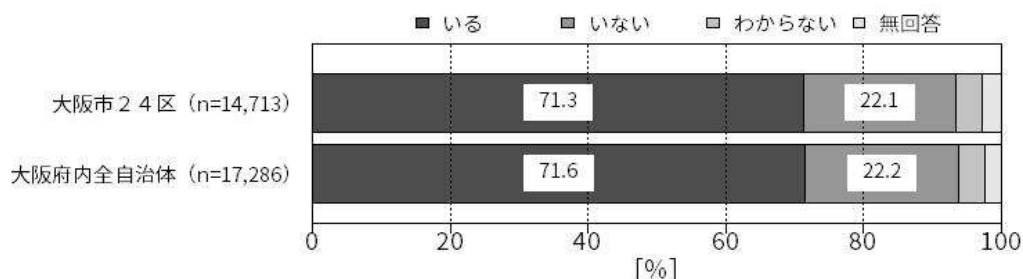


図 57. 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人

5 歳児-34-7 留守を頼める人

問 34 ⑦ 留守を頼める人（あてはまる番号 1 つに○をつけてください。）

大阪市では、「いる」が 67.5%、「いない」が 25.7%、「わからない」が 4.0%、「無回答」が 2.8%である。

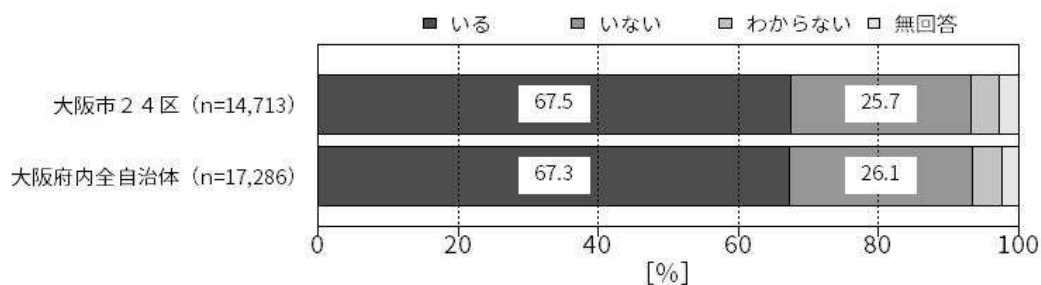


図 58. 留守を頼める人

5 歳児-35 困ったときの相談先

問 35 あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

大阪市では、「配偶者・パートナー」が 77.6%、「自分の親」が 75.7%、「近隣に住む知人や友人」が 45.8%、「きょうだい・その他の親戚」が 38.8%、「配偶者・パートナーの親」が 27.6%の順に高くなっている。

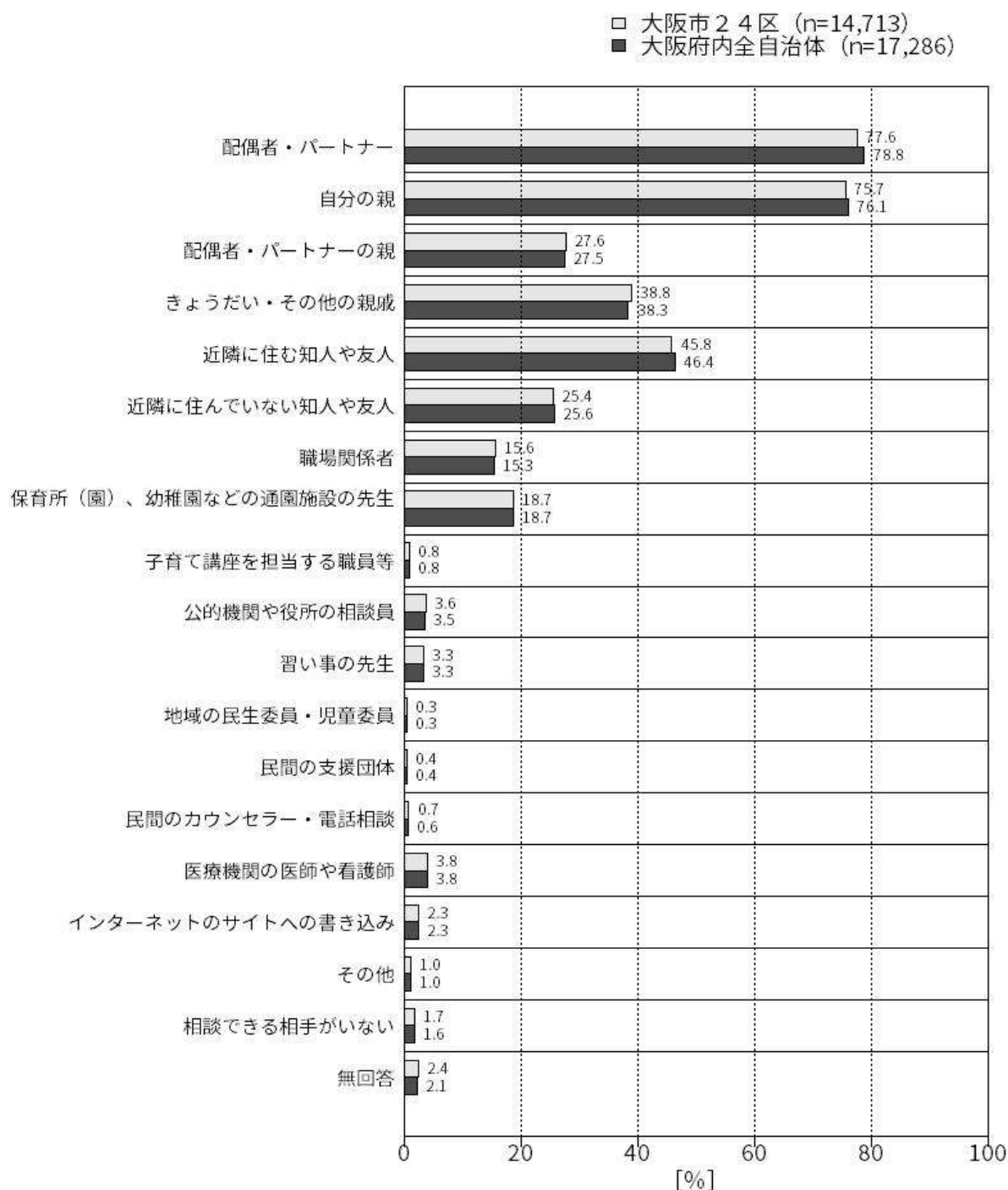


図 59. 困ったときの相談先

裏

色紙

色紙裏

3. クロス集計および分析結果

以下のグラフは、主に困窮度別に示している。5歳児全体（4市町合計）の傾向については記述していないが、多くにおいて、本自治体調査結果と同様の傾向が見られる。さらに顕著な傾向が見られるものもある。（困窮度については、図5参照）

3-1. 基本情報

（1）経済状況

困窮度別に見た、経済的な理由による経験（問6）

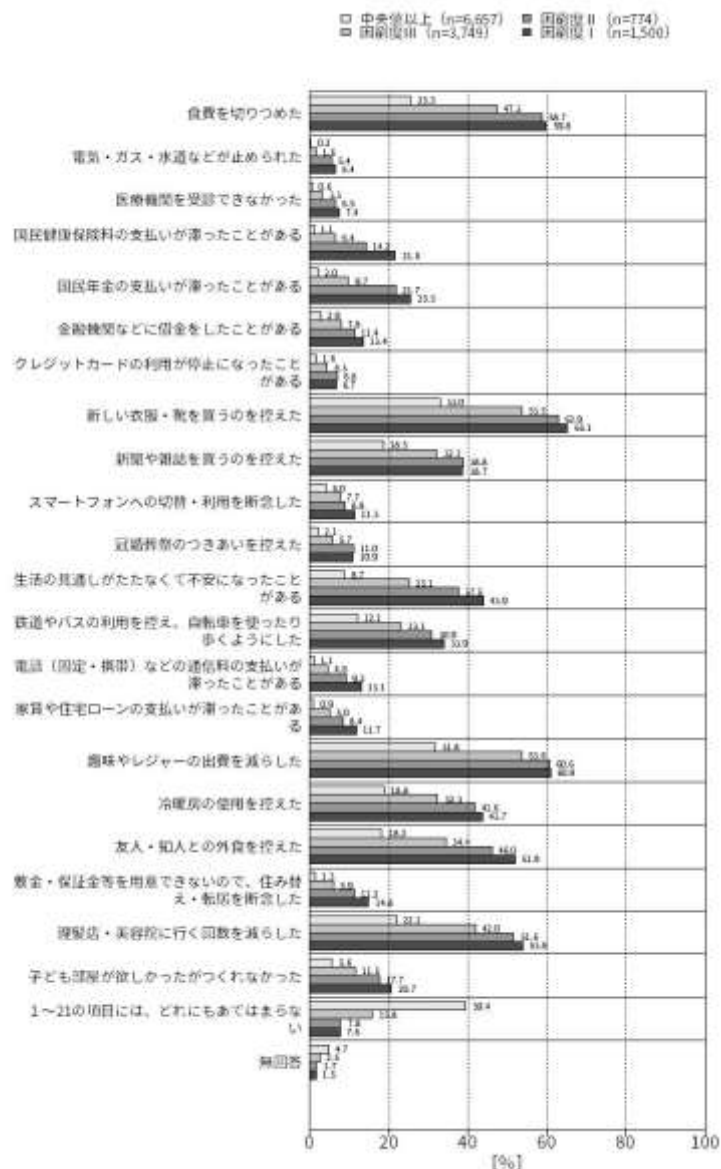


図 60.困窮度別に見た、経済的な理由による経験

困窮度が高まるにつれて、できなかったことが増えていた。また、困窮度I群では、中央値以上群に比べて、「電気・ガス・水道などが止められた」の割合が6.4%（中央値以上群に対して32.0倍）、「国民健康保険料の支払いが滞ったことがある」の割合が21.6%（同じく19.6倍）、「家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある」の割合が11.7%（同じく13.0倍）と、高い項目が見られた。

困窮度別に見た、子どもについて経済的な理由による経験（問 29）

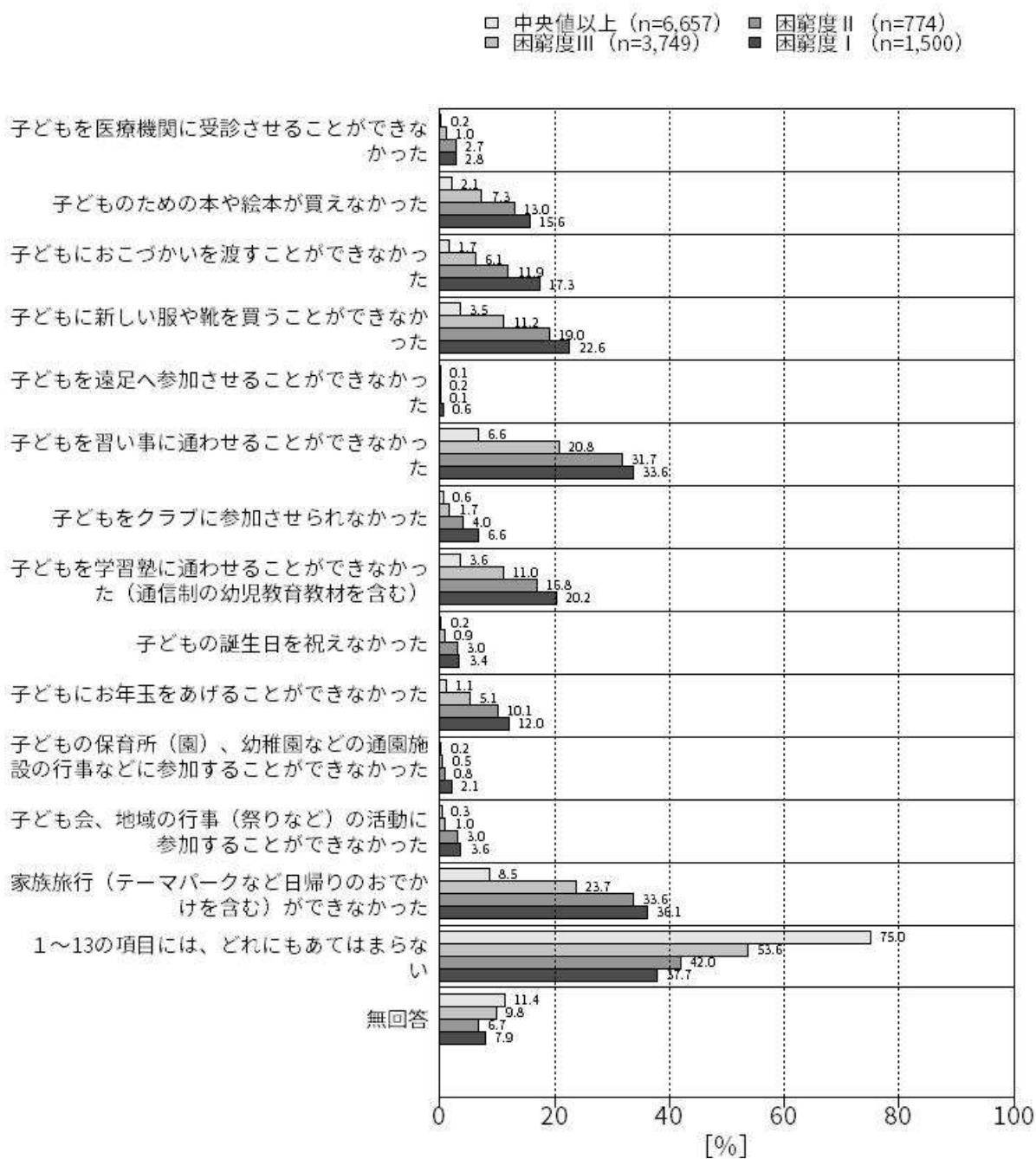


図 61. 困窮度別に見た、子どもについて経済的な理由による経験

困窮度が高まるにつれて、できなかったことが増えていた。また、困窮度Ⅰ群では、中央値以上群に比べて、「子どもの誕生日を祝えなかった」の割合が 3.4%（中央値以上群に対して、17.0 倍）、「子どもを医療機関に受診させることができなかった」の割合が 2.8%（同じく、14.0 倍）、「子ども会、地域の行事（祭りなど）の活動に参加することができなかった」の割合が 3.6%（同じく、12.0 倍）と高い項目が見られた。

困窮度別に見た、世帯で経済的な理由でできなかったこと（問 6）

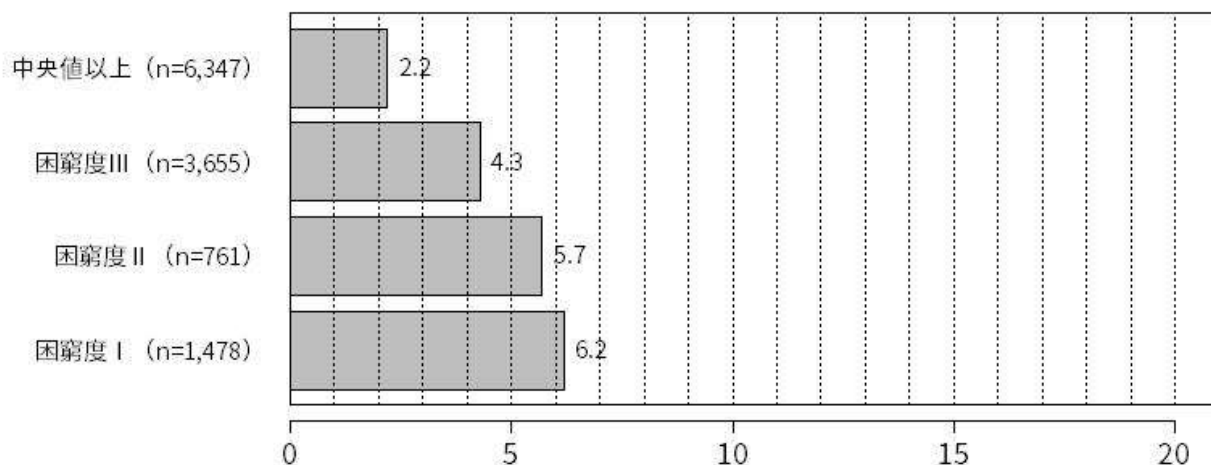


図 62. 困窮度別に見た、世帯で経済的な理由でできなかったこと

経済的な理由による経験として示した 21 個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

困窮度が高まるにつれて、該当数が多くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群では 6.2 個であった。

困窮度別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかったこと（問 29）

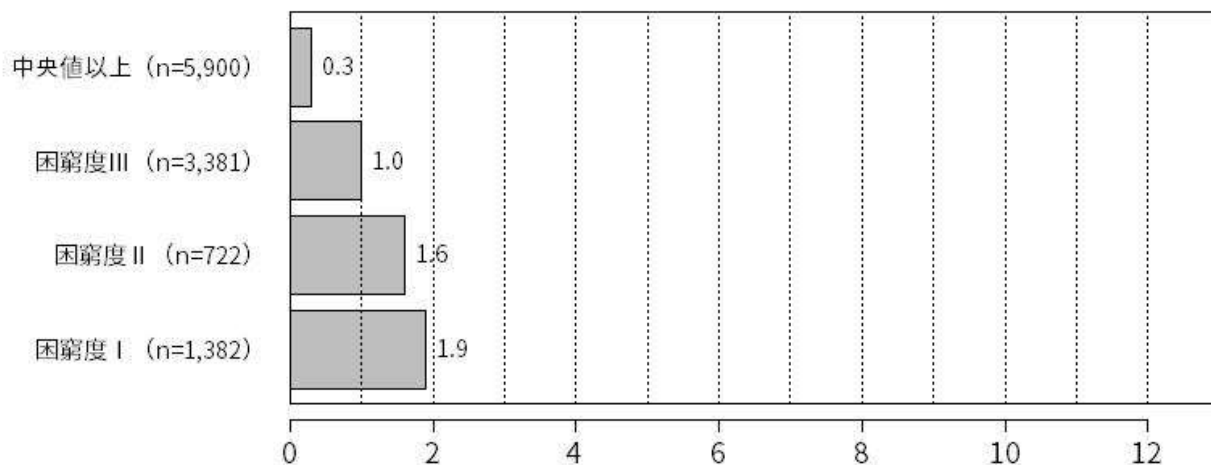


図 63. 困窮度別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかったこと

困窮度が高まるにつれて、該当数が多くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群では 1.9 個であった。

困窮度別に見た、世帯員の構成（問 3-2）

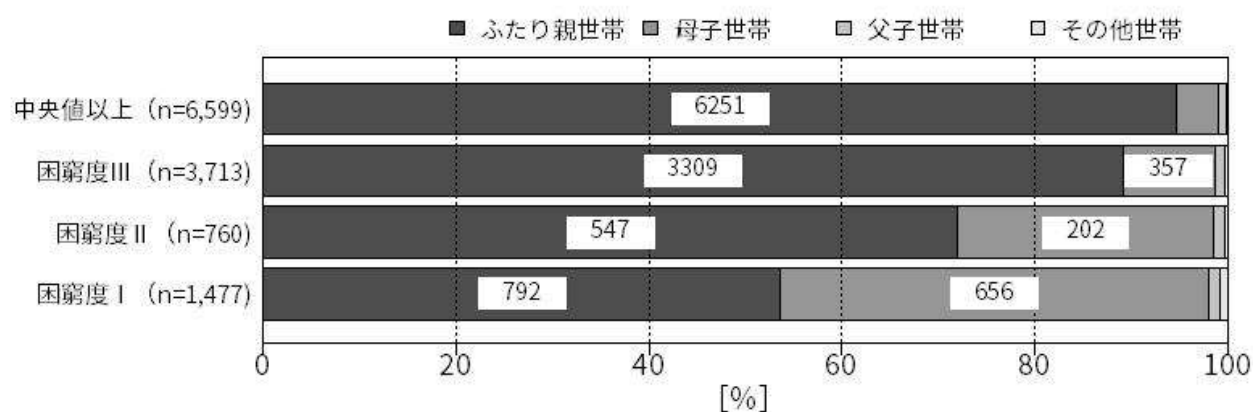


図 64.困窮度別に見た、世帯員の構成

困窮度が高まるにつれ、ふたり親世帯の割合が低くなり、母子世帯の割合が高くなる。困窮度Ⅰ群では、「母子世帯」の割合が高くなっており、44.4%であった。

世帯構成別に見た、家計状況（問 1×問 5-1）

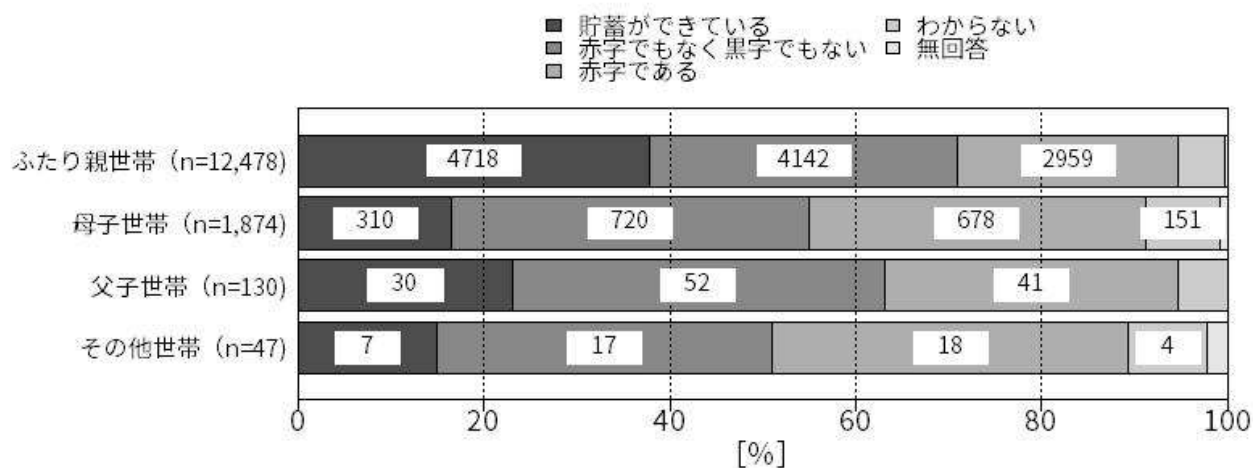


図 65.世帯構成別に見た、家計状況

ふたり親世帯では 37.8%が「貯蓄ができていない」が、父子世帯・母子世帯では赤字が多い（それぞれ 40.0%、38.4%）。

困窮度別に見た、介護または介助の必要な人（問 3-1-2）

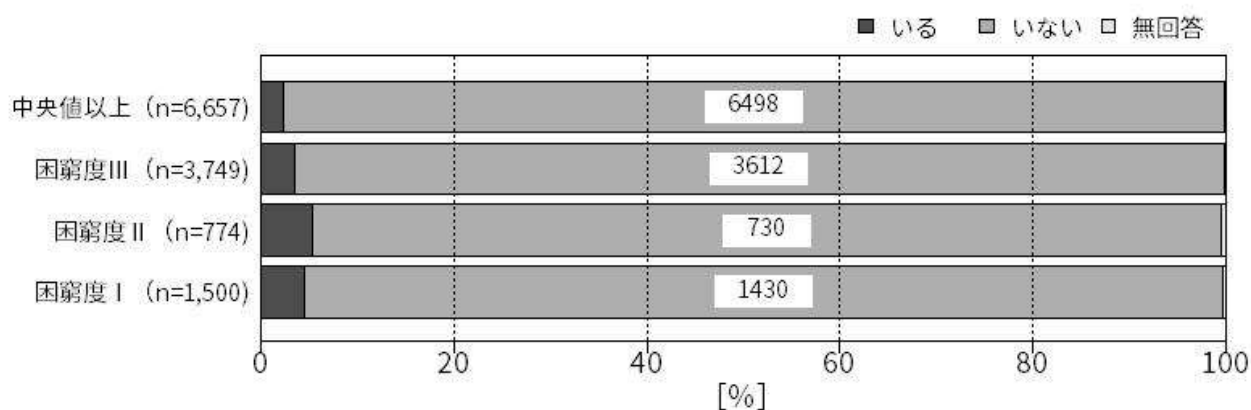


図 66.困窮度別に見た、介護または介助の必要な人

困窮度が厳しくなるにつれて、介護・介助の必要な人がある割合が高くなる傾向にあった。

困窮度別に見た、子どもの人数（問 3-1-3）

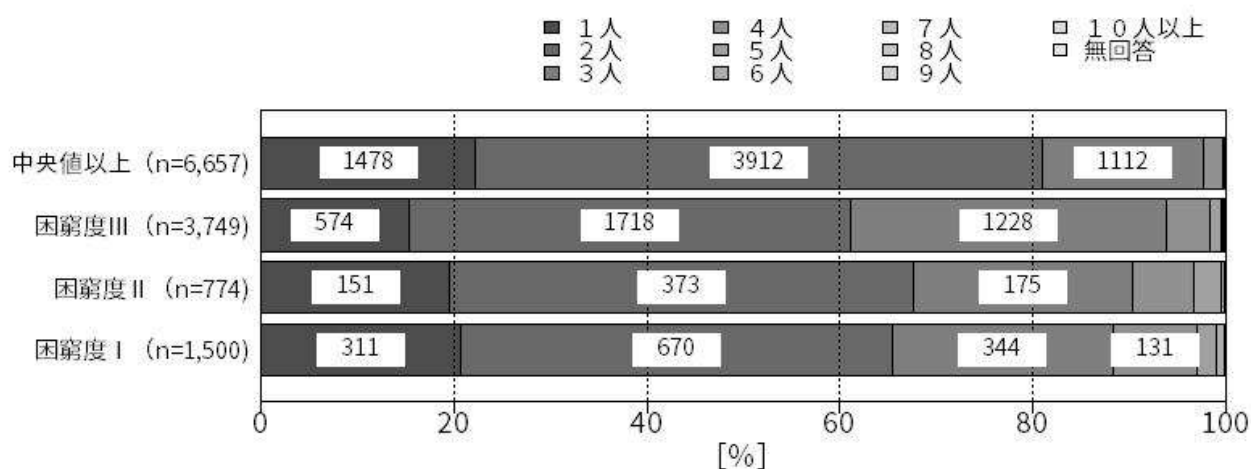


図 67.困窮度別に見た、子どもの人数

中央値以上群に比べ、他の群では子どもの人数が3人以上の世帯の割合が高くなり、困窮度Ⅰでは、子どもの人数が3人以上の世帯が 34.6%を占めていた。

困窮度別に見た、住居（問 4）

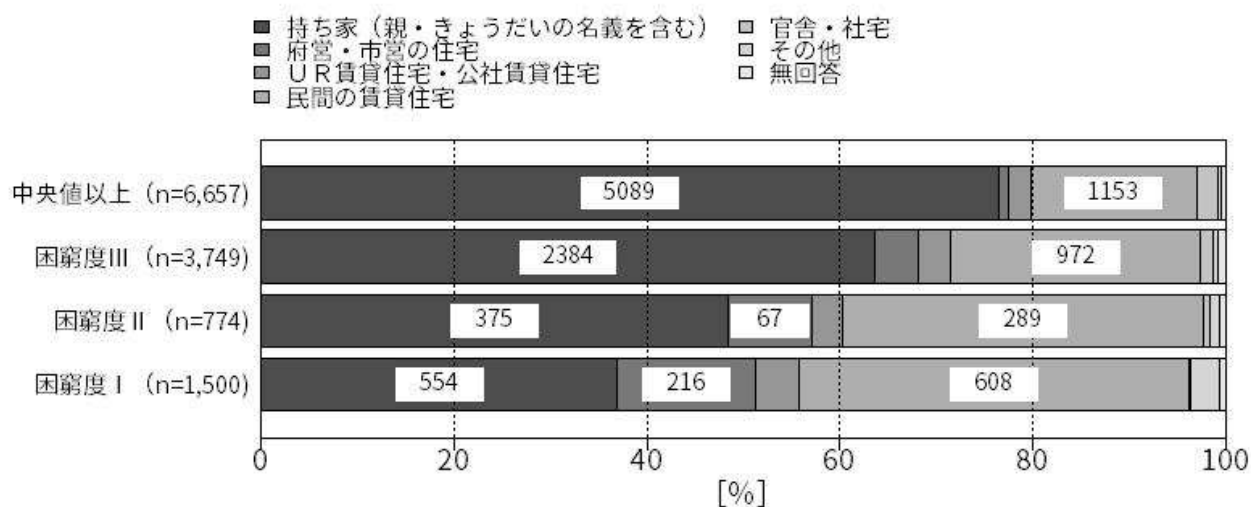


図 68.困窮度別に見た、住居

困窮度が高まるにつれて持ち家を保有率は低くなっている。困窮度Ⅰ群では、「府営・市営の住宅」が14.4%、「その他」が3.0%、「民間の賃貸住宅」が40.5%を占めていた。

困窮度別に見た、家計状況（問 5-1）

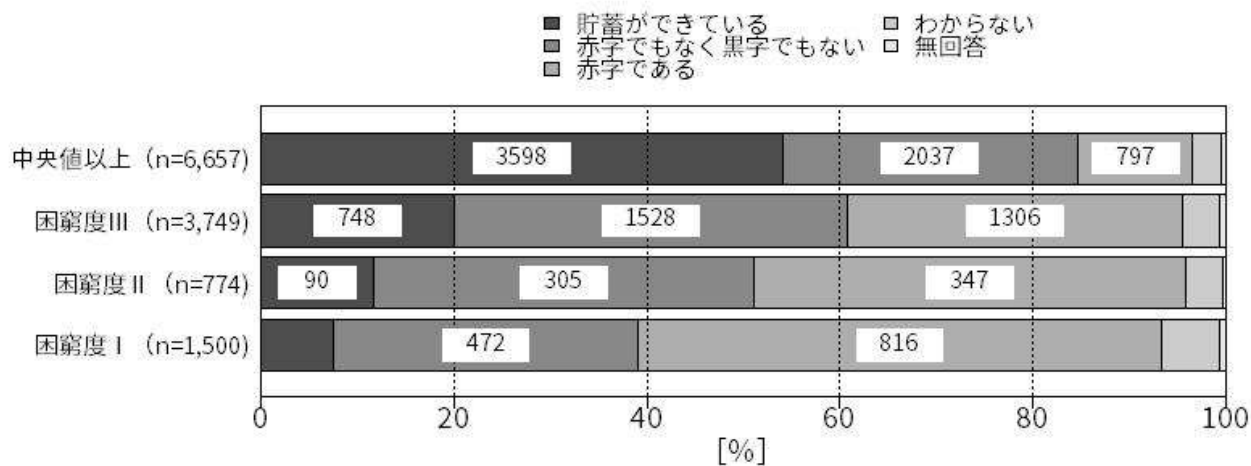


図 69.困窮度別に見た、家計状況

困窮度が高まるにつれて、貯蓄ができている割合が低くなり、赤字である割合が高くなる。困窮度Ⅰ群では、「赤字である」が54.4%、「赤字でもなく黒字でもない」が31.5%を占めていた。

困窮度別に見た、子どものための貯蓄（問 5-3）

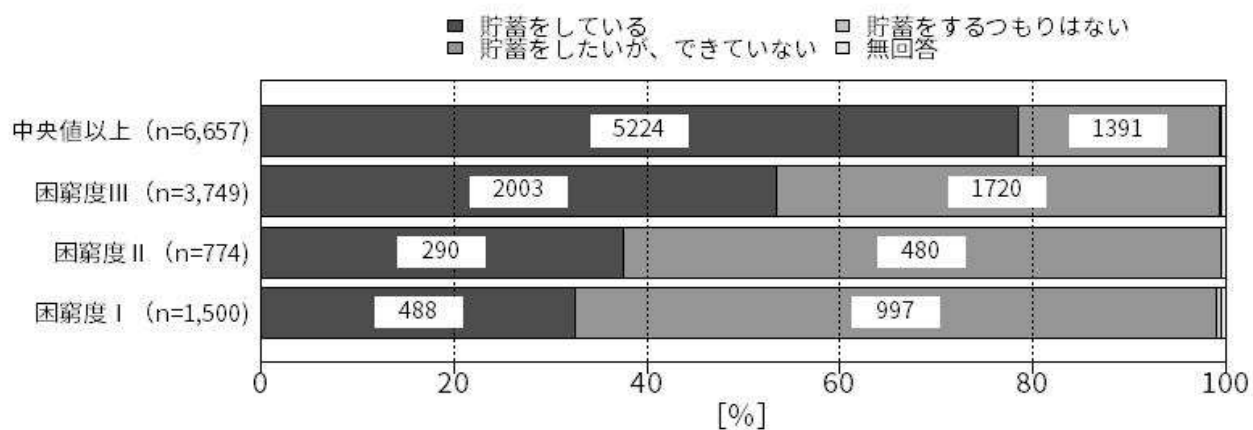


図 70.困窮度別に見た、子どものための貯蓄

困窮度が高まるにつれて、貯蓄をしている割合が低くなり、「貯蓄をしたいが、できていない」という回答をした割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群では、「貯蓄をしたいが、できていない」が 66.5%を占めていた。

(2) 家庭状況（制度等）

困窮度別に見た、児童手当（問 41-3-1）

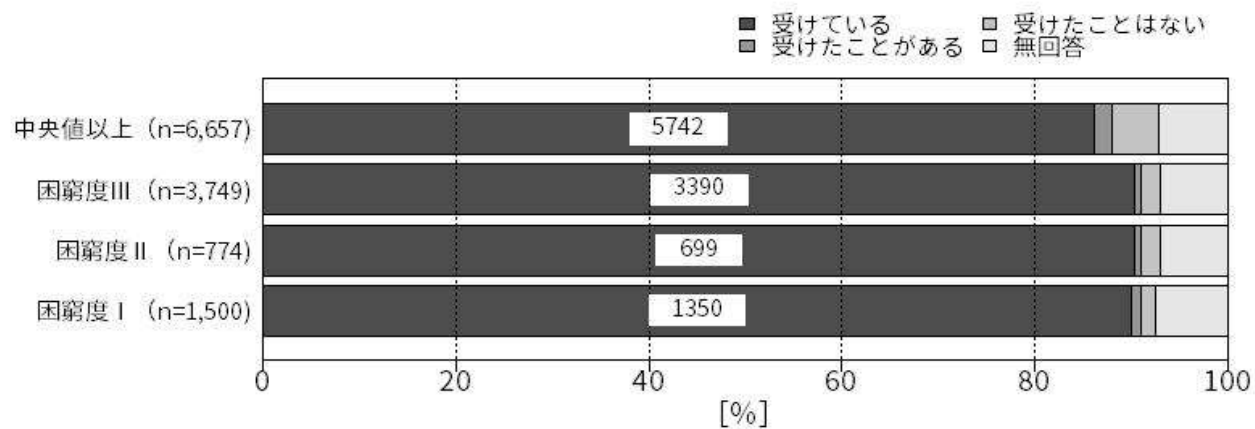


図 71.困窮度別に見た、児童手当

中央値以上群以外の世帯では 90%以上の世帯が、児童手当を受けていた。

困窮度別に見た、就学援助（問 41-3-2）

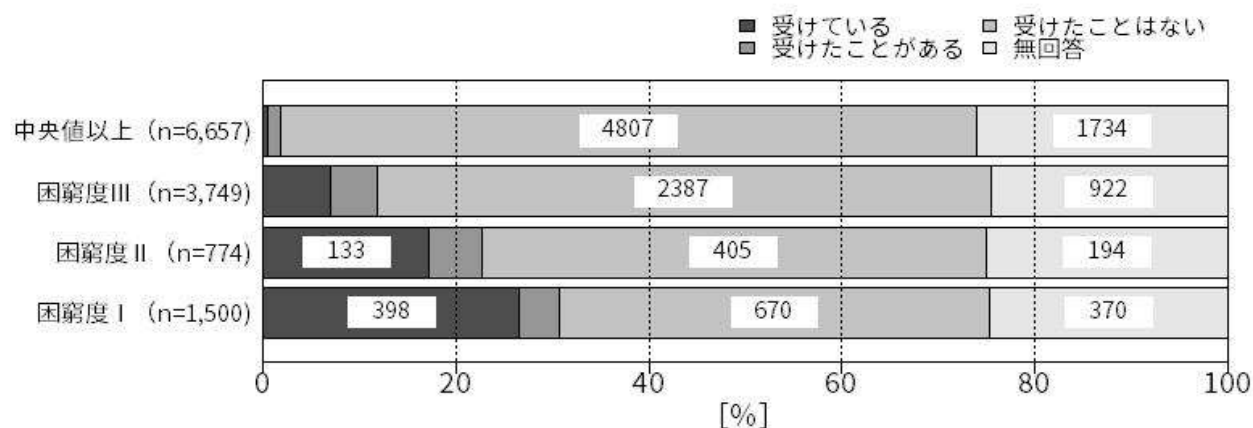


図 72.困窮度別に見た、就学援助

困窮度が厳しくなるにつれて、受けている割合が増える傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては 26.5% となった。いずれの群においても無回答の割合が同程度見られる。

困窮度別に見た、児童扶養手当（問 41-3-3）

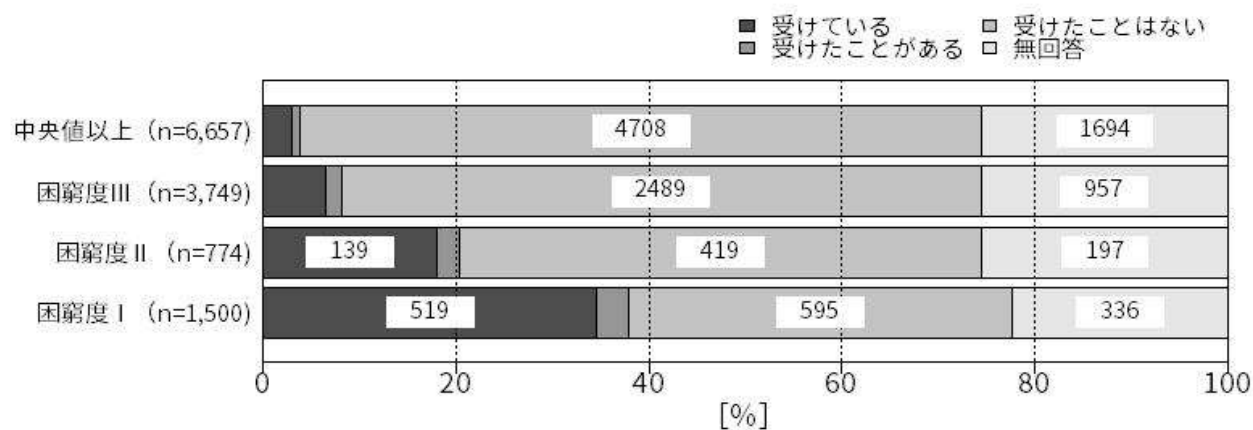


図 73.困窮度別に見た、児童扶養手当

困窮度が厳しくなるにつれて、受けている割合が増える傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては 34.6% となった。いずれの群においても無回答の割合が同程度見られる。

困窮度別に見た、生活保護（問 41-3-5）

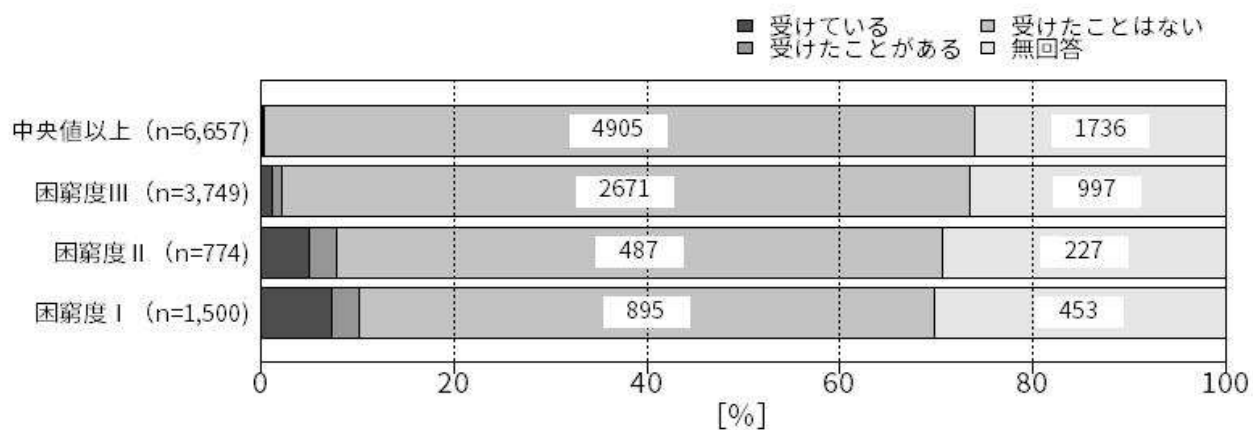


図 74.困窮度別に見た、生活保護

困窮度が厳しくなるにつれて、受けている割合が増える傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては7.3%となった。いずれの群においても無回答の割合が同程度見られる。

困窮度別に見た、公的年金（遺族年金、障がい年金）（問 41-3-7）

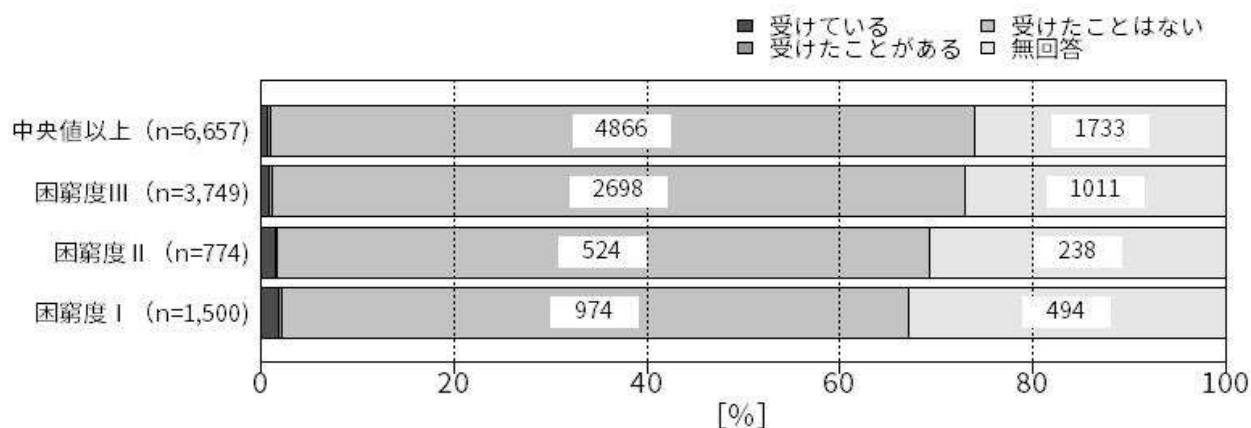


図 75.困窮度別に見た、公的年金（遺族年金、障がい年金）

困窮度が厳しくなるにつれて、受けている割合がわずかながら増える傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては1.8%となった。

困窮度別に見た、養育費（問 42-3-9）

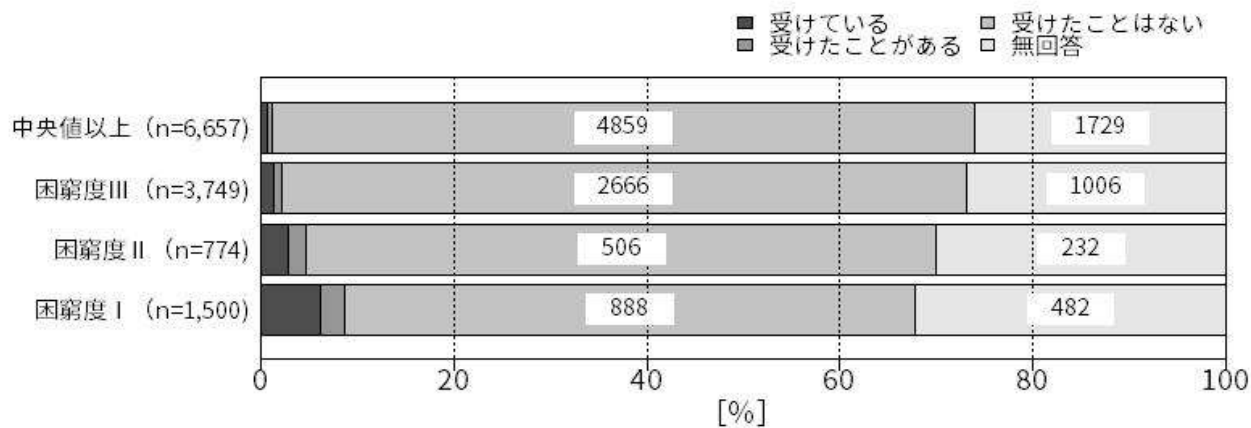


図 76.困窮度別に見た、養育費

困窮度が厳しくなるにつれて、受けている割合がわずかながら増える傾向にあり、困窮度Ⅰでは、6.1%が受けていた。

養育費の受給別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均（問 30-3-9×問 6）
 ＜父子世帯＞

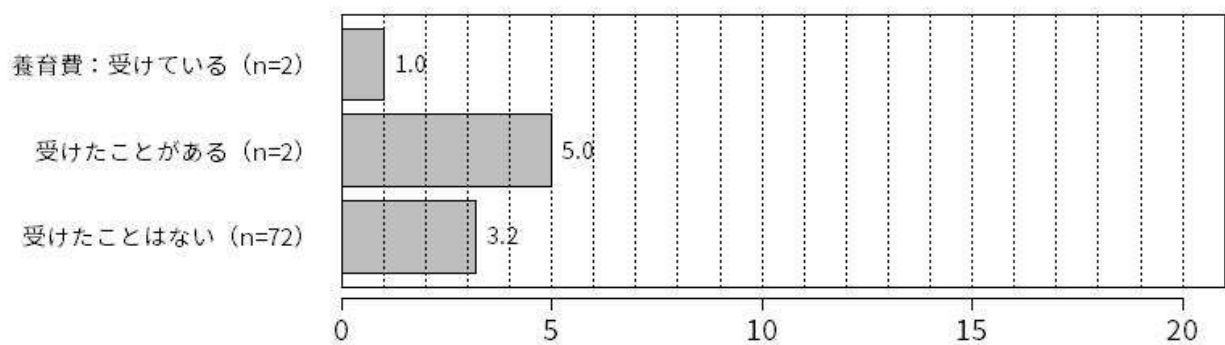


図 77.養育費の受給別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均
 ＜父子世帯＞

父子世帯は少なかったため、傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均（問 30-3-9×問 6）
 ＜母子世帯＞

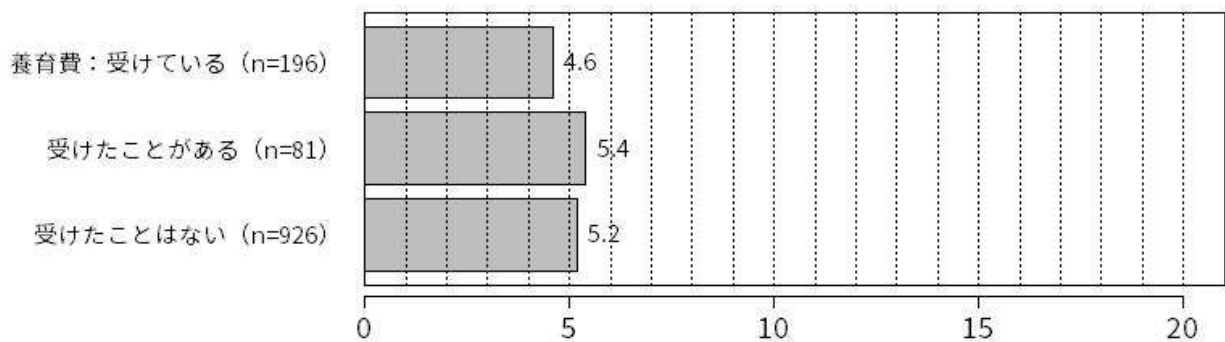


図 78.養育費の受給別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均
 ＜母子世帯＞

養育費を受けている母子世帯では、該当数が少ない傾向にあり、平均 4.6 個であった。

養育費の受給別に見た、就労状況（問 30-3-9×問 8）＜父子世帯＞

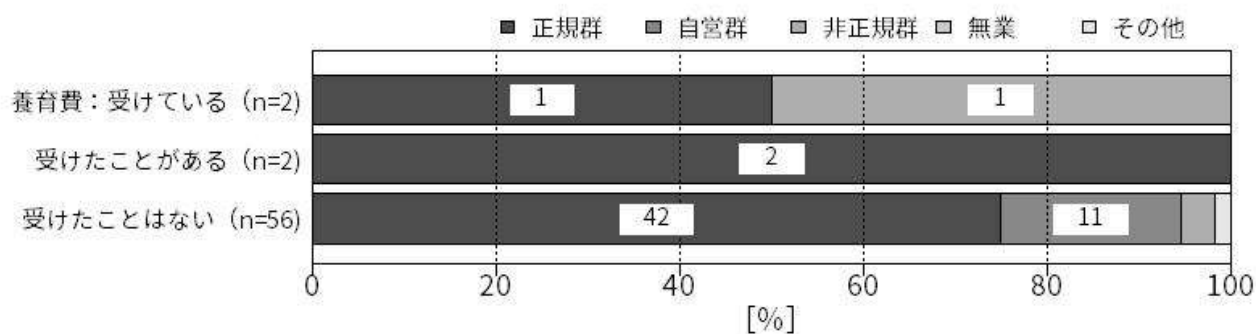


図 79.養育費の受給別に見た、就労状況＜父子世帯＞

父子世帯は少なかったため、傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、就労状況（問 30-3-9×問 8）＜母子世帯＞

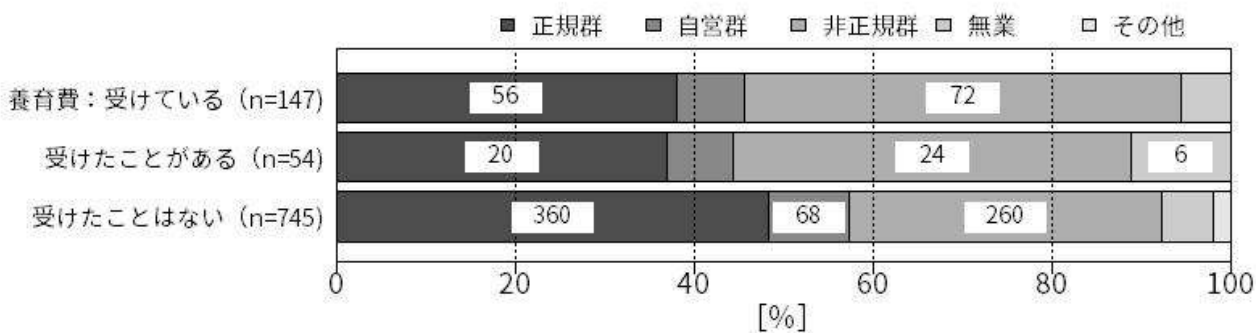


図 80.養育費の受給別に見た、就労状況＜母子世帯＞

養育費を受けたことのない世帯では、「正規群」の割合が高く、「非正規群」の割合が低くなっている。受けている・受けたことがある世帯では、正規群の割合はそれぞれ 38.1%、37.0%と 4 割弱になっている。

養育費の受給別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかったこと
(問 30-3-9×問 29) <父子世帯>

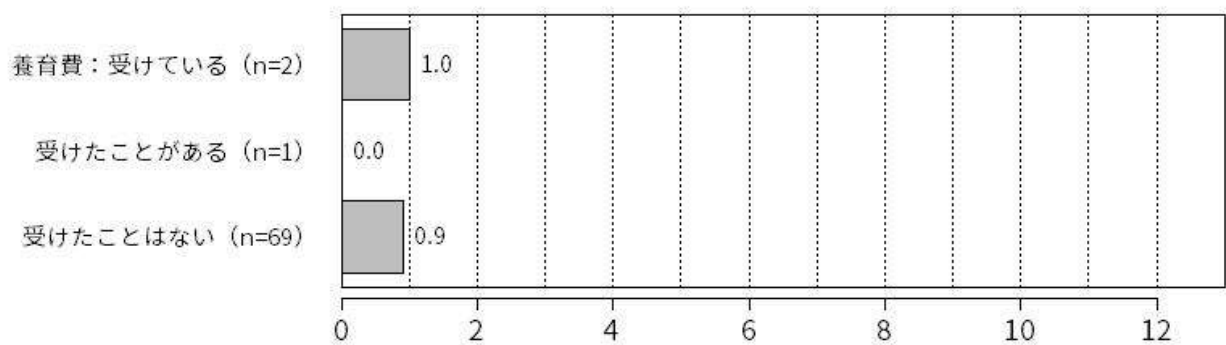


図 81.養育費の受給別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかったこと
<父子世帯>

父子世帯は少なかったため、傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかったこと
(問 30-3-9×問 29) <母子世帯>

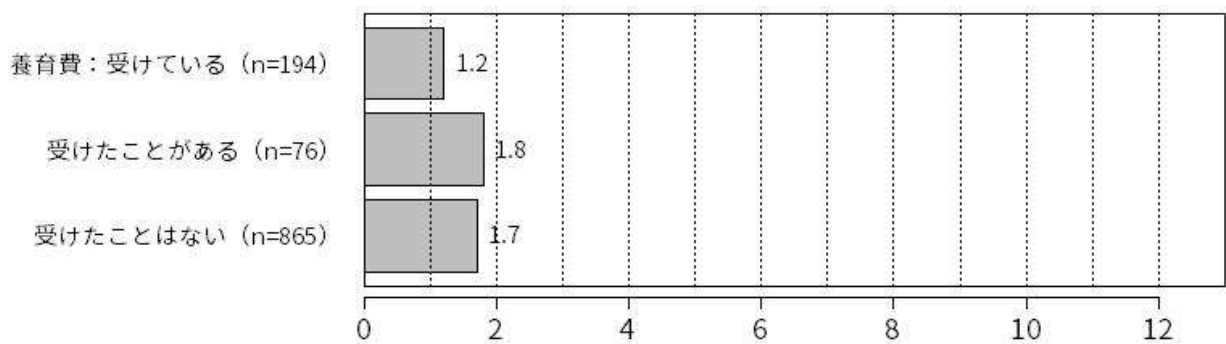


図 82.養育費の受給別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかったこと
<母子世帯>

養育費を受けたことのない世帯・受けたことがある世帯での該当率は、受けている世帯に比べ多い傾向にあった。

養育費の受給別に見た、子の進学先希望（問 30-3-9×問 32）＜父子世帯＞

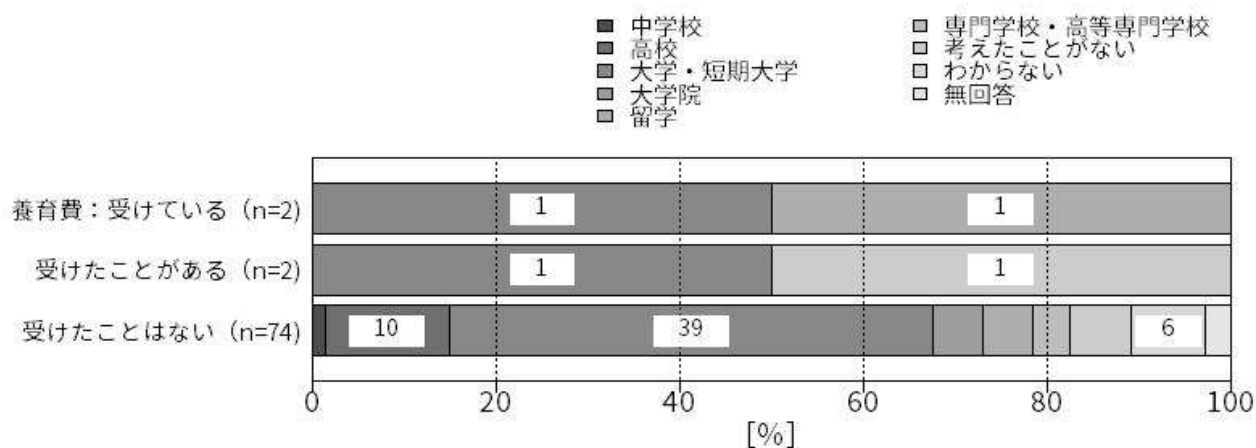


図 83.養育費の受給別に見た、子の進学先希望
＜父子世帯＞

父子世帯は少なかったため、傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、子の進学先希望（問 30-3-9×問 32）＜母子世帯＞

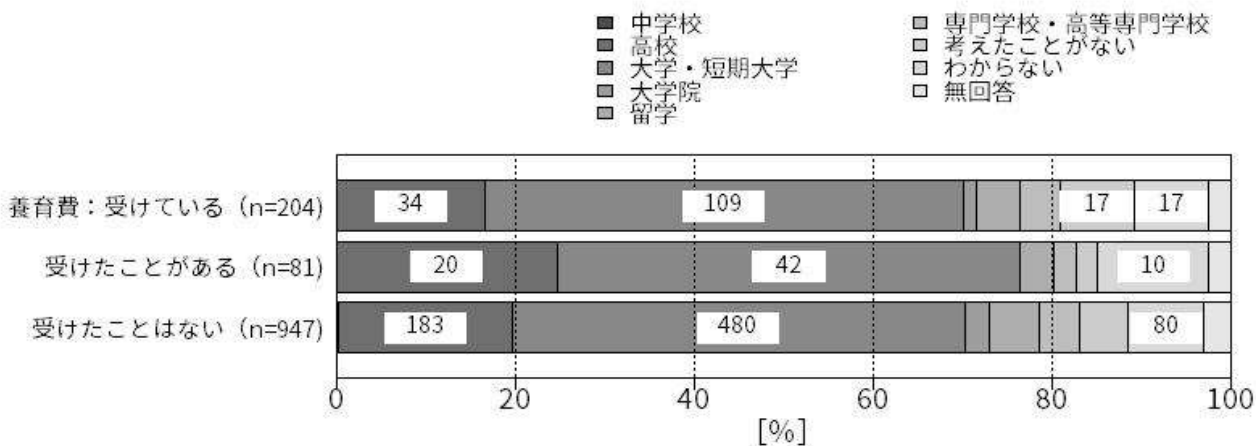


図 84.養育費の受給別に見た、子の進学先希望
＜母子世帯＞

養育費を受けたことがある世帯では「高校」と回答した割合が高く、24.7%であった。大学・短期大学に回答した割合に大きな差は見られなかった。

養育費の受給別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる（問 30-3-9×問 36-1）
 ＜父子世帯＞

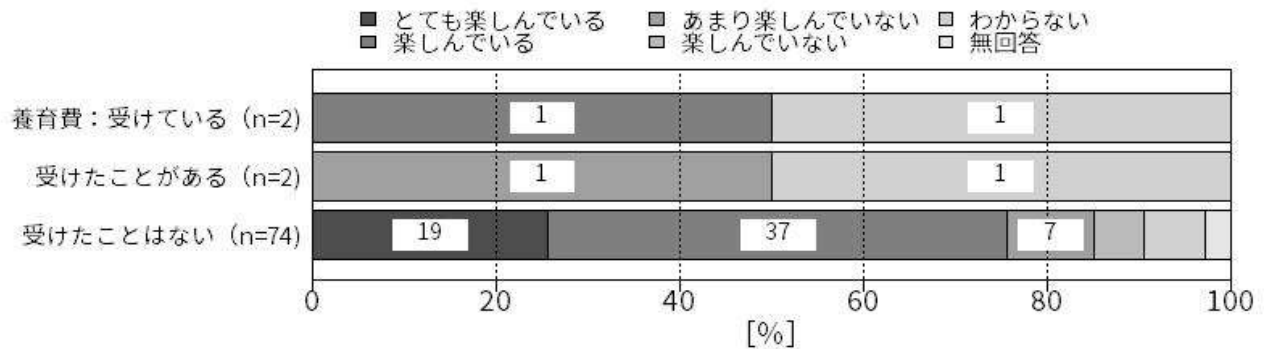


図 85.養育費の受給別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる
 ＜父子世帯＞

父子世帯は少なかったため、傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる（問 30-3-9×問 36-1）
 ＜母子世帯＞

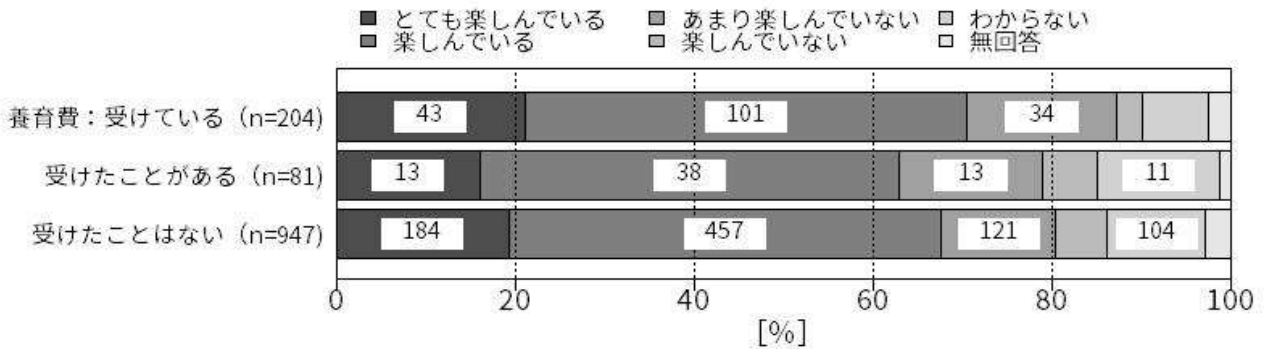


図 86.養育費の受給別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる
 ＜母子世帯＞

養育費を受けている世帯において、「とても楽しんでいる」と「楽しんでいる」をあわせた割合が他に比べ高く、70.6%であった。

養育費の受給別に見た、心の状態（２）将来への希望（問 30-3-9×問 36-2）

<父子世帯>

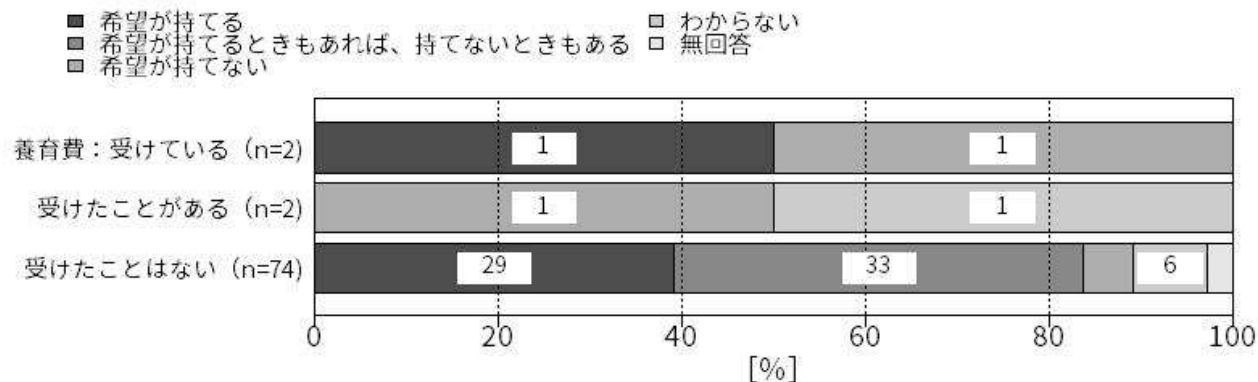


図 87.養育費の受給別に見た、心の状態（２）将来への希望
<父子世帯>

父子世帯は少なかったため、傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（２）将来への希望（問 30-3-9×問 36-2）

<母子世帯>

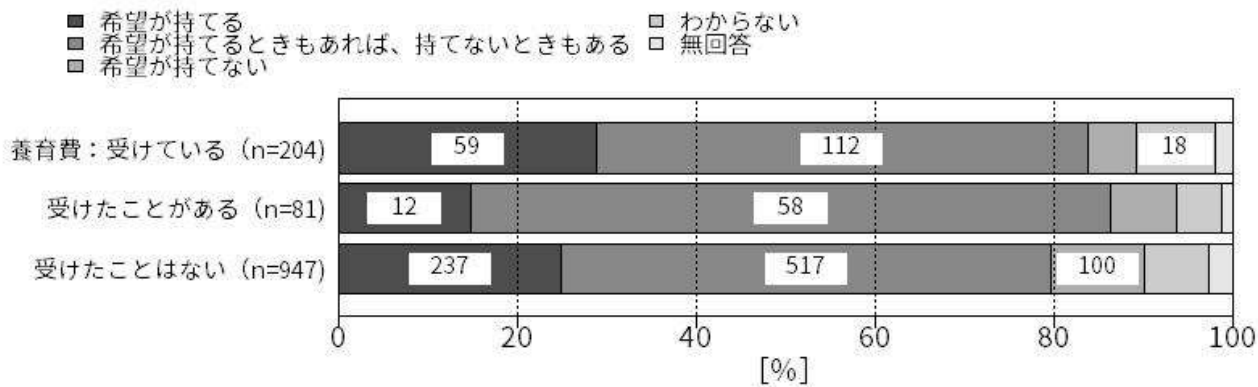


図 88.養育費の受給別に見た、心の状態（２）将来への希望
<母子世帯>

養育費を受けたことのある世帯では、「希望が持てる」という回答が受けている世帯・受けたことはない世帯に比べ、かなり割合が低く 14.8%であった。

養育費の受給別に見た、心の状態（３）ストレス発散できるもの（問 30-3-9×問 36-3）
 ＜父子世帯＞

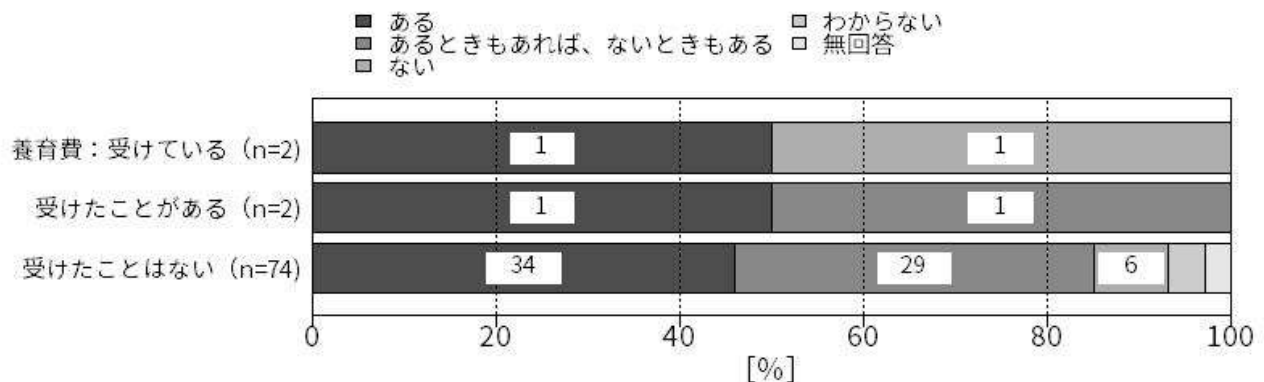


図 89.養育費の受給別に見た、心の状態（３）ストレス発散できるもの
 ＜父子世帯＞

父子世帯は少なかったため、傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（３）ストレス発散できるもの（問 30-3-9×問 36-3）
 ＜母子世帯＞

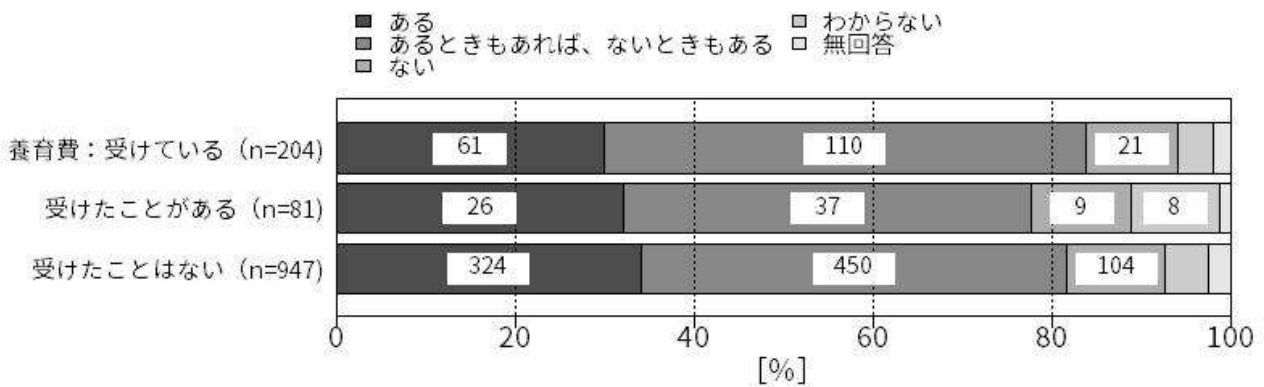


図 90.養育費の受給別に見た、心の状態（３）ストレス発散できるもの
 ＜母子世帯＞

養育費を受けたことのない世帯では、受けている世帯・受けたことがある世帯に比べ、「(ストレス発散できるものが) ある」が多く、34.2%であった。

養育費の受給別に見た、心の状態（４）幸せだと思う（問 30-3-9×問 36-4）

<父子世帯>

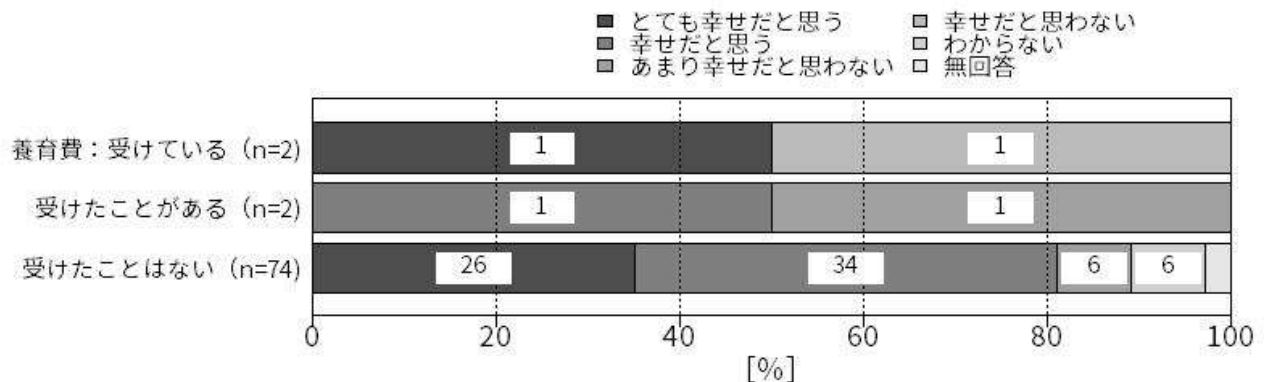


図 91.養育費の受給別に見た、心の状態（４）幸せだと思う

<父子世帯>

父子世帯は少なかったため、傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（４）幸せだと思う（問 30-3-9×問 36-4）

<母子世帯>

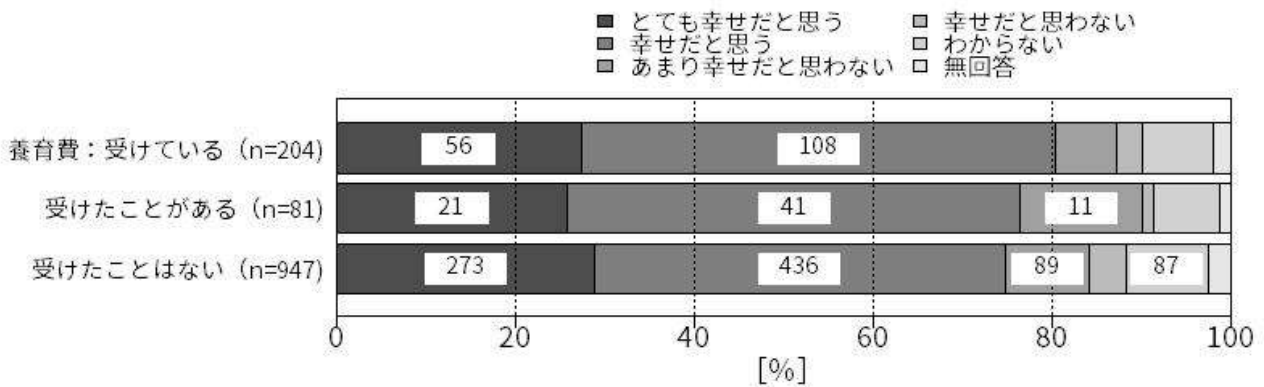


図 92.養育費の受給別に見た、心の状態（４）幸せだと思う

<母子世帯>

養育費を受けたことがある世帯では、「幸せだと思わない」が多く 13.6%であった。

困窮度別に見た、はじめて親となった年齢（問 33）

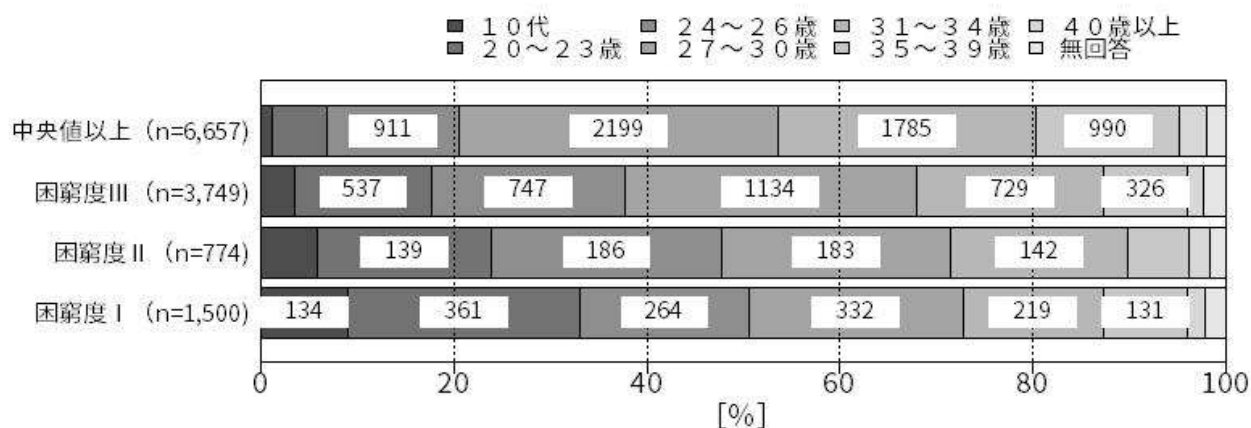


図 93.困窮度別に見た、はじめて親となった年齢

困窮度が厳しくなるにしたがって、10代で親となった割合が増える傾向にあった。若くして母親となった人ほど、経済的な問題を抱えている可能性が考えられる。

困窮度別に見た、はじめて親となった年齢（問 33）※母親が回答者の場合に限定

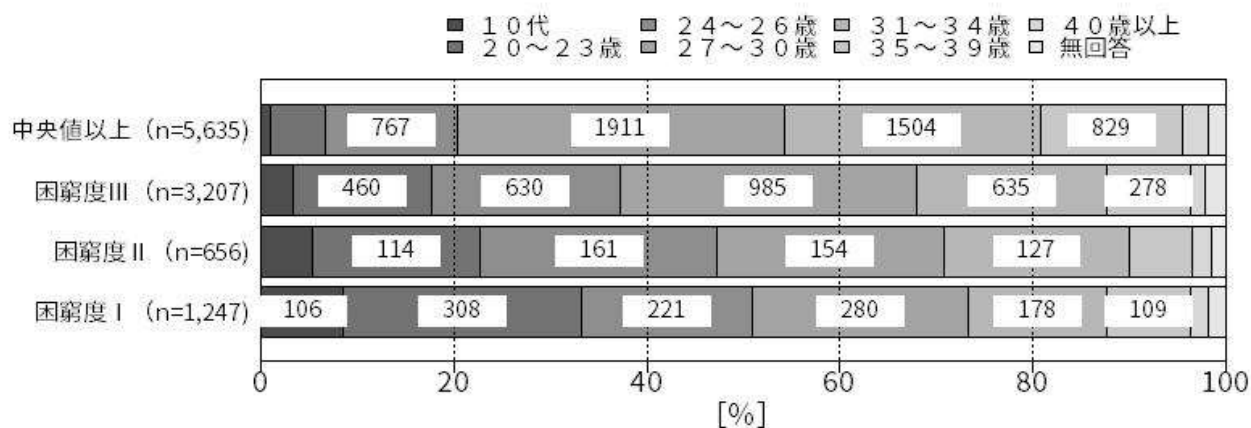


図 94.困窮度別に見た、はじめて親となった年齢

※母親が回答者の場合に限定

困窮度が厳しくなるにしたがって、10代で親となった割合が増える傾向にあった。若い世代で出産する人では、経済的に厳しいことが示唆される。